

2023年3月期決算説明会資料

株式会社メルコホールディングス

2023年5月

1. 2023年3月期 決算概要	P.2
2. 重点取組み報告	
・ IT関連事業	P.12
・ 食品事業	P.29
3. 2024年3月期 業績予想	P.37
4. 参考資料	P.40

1. 2023年3月期 決算概要

単位：億円	2203期末 実績	2303期末 実績	前期比 増減率	2303期末 (2022年5月13日公表)	
				期初業績予想	予想比(金額)
売上高	1,441	1,425	△1.1%	1,500	△75
営業利益	126	45	△64.4%	65	△20
経常利益	130	47	△63.9%	70	△23
親会社株主に帰属する 当期純利益	93	30	△67.3%	50	△20

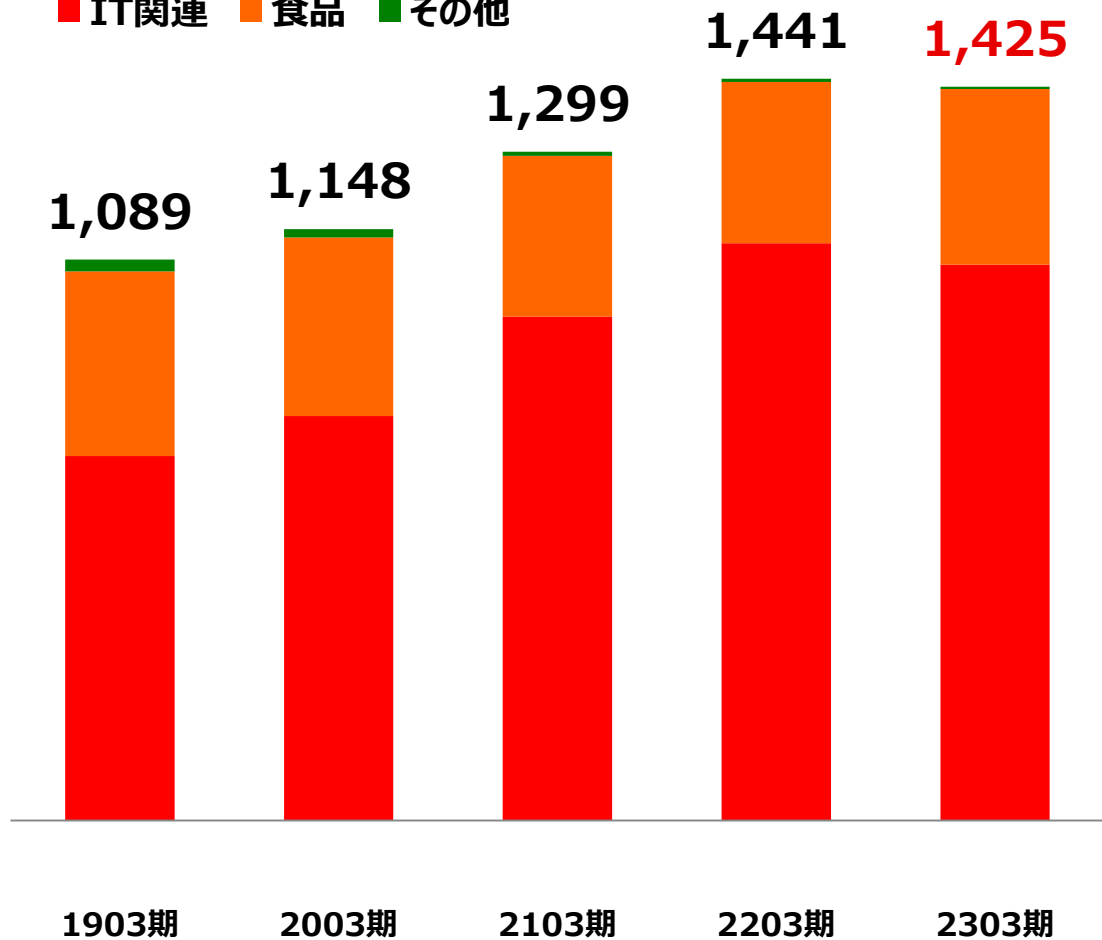
※億円未満は切り捨てて表示しております。

※期初業績予想は、2023年2月13日および同年4月13日付公表「通期連結業績予想の修正のお知らせ」のとおり修正しております。

連結売上高

(億円)

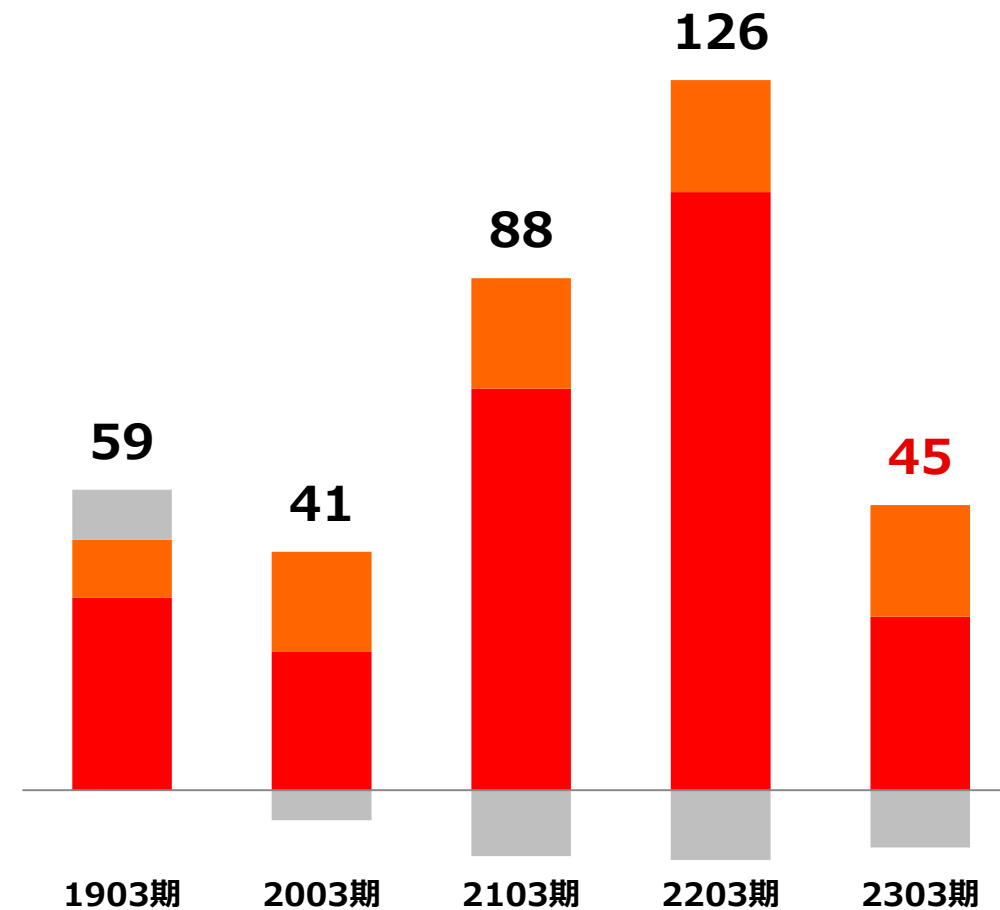
■ IT関連 ■ 食品 ■ その他



連結営業利益

(億円)

■ IT関連 ■ 食品 ■ その他



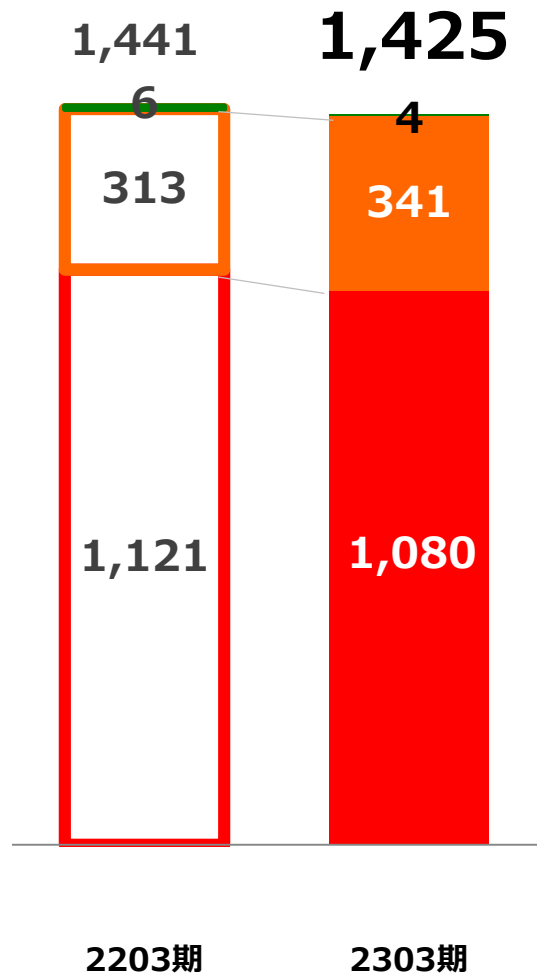
※億円未満は切り捨てて表示しております。

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。2022年3月期以前は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

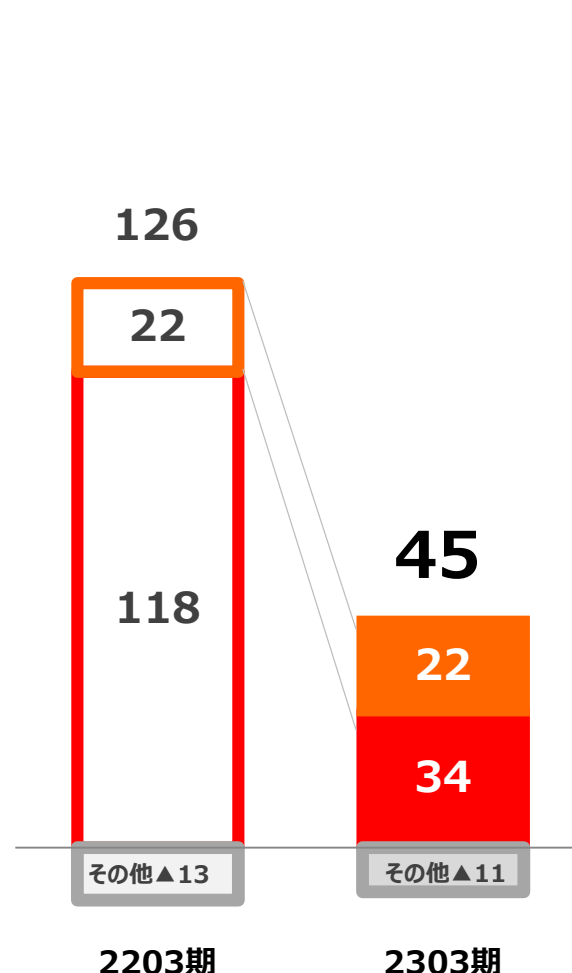
連結売上高

(億円)



連結営業利益

(億円)



IT関連事業

売上高構成比：75.8%

- 売上高：商品の安定供給に努めシェアは維持・拡大したものの、国内市場の需要縮小により、前年同期比3.7%の減収
- 営業利益：円安の進行等による原価高騰に対し、商品の安定供給・価格安定に努めたことにより利益率が低下し、同71.0%の減益

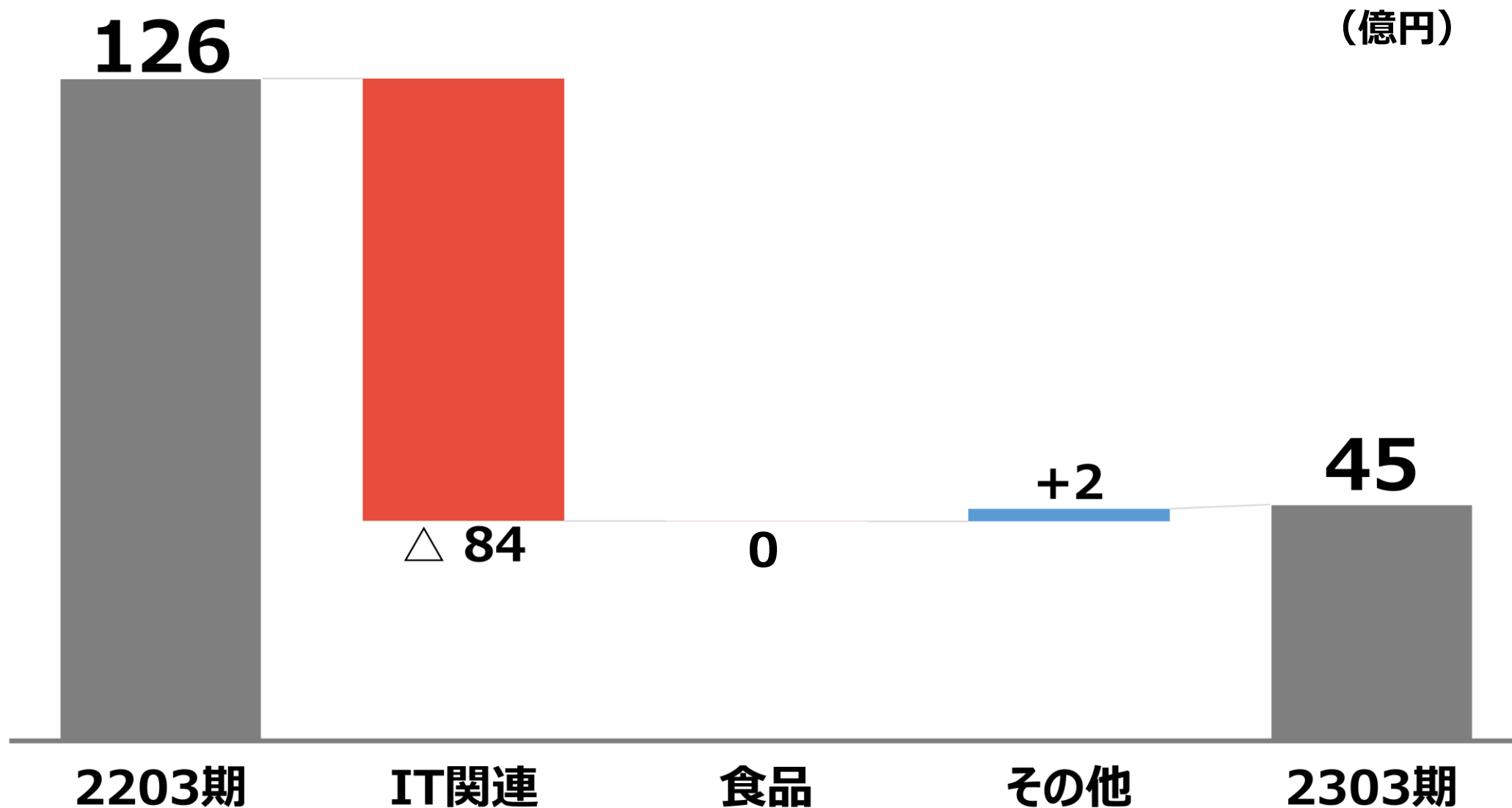
食品事業

売上高構成比：23.9%

- 売上高：国産原料を使用し付加価値を高めた商品の拡大や外食市場の回復、新規開拓継続等により、前年同期比8.9%の増収
- 営業利益：原材料・エネルギー等が大幅上昇する中、経費削減・原価低減や価格改定の定着に努めた結果、前年同期比ほぼ横ばい

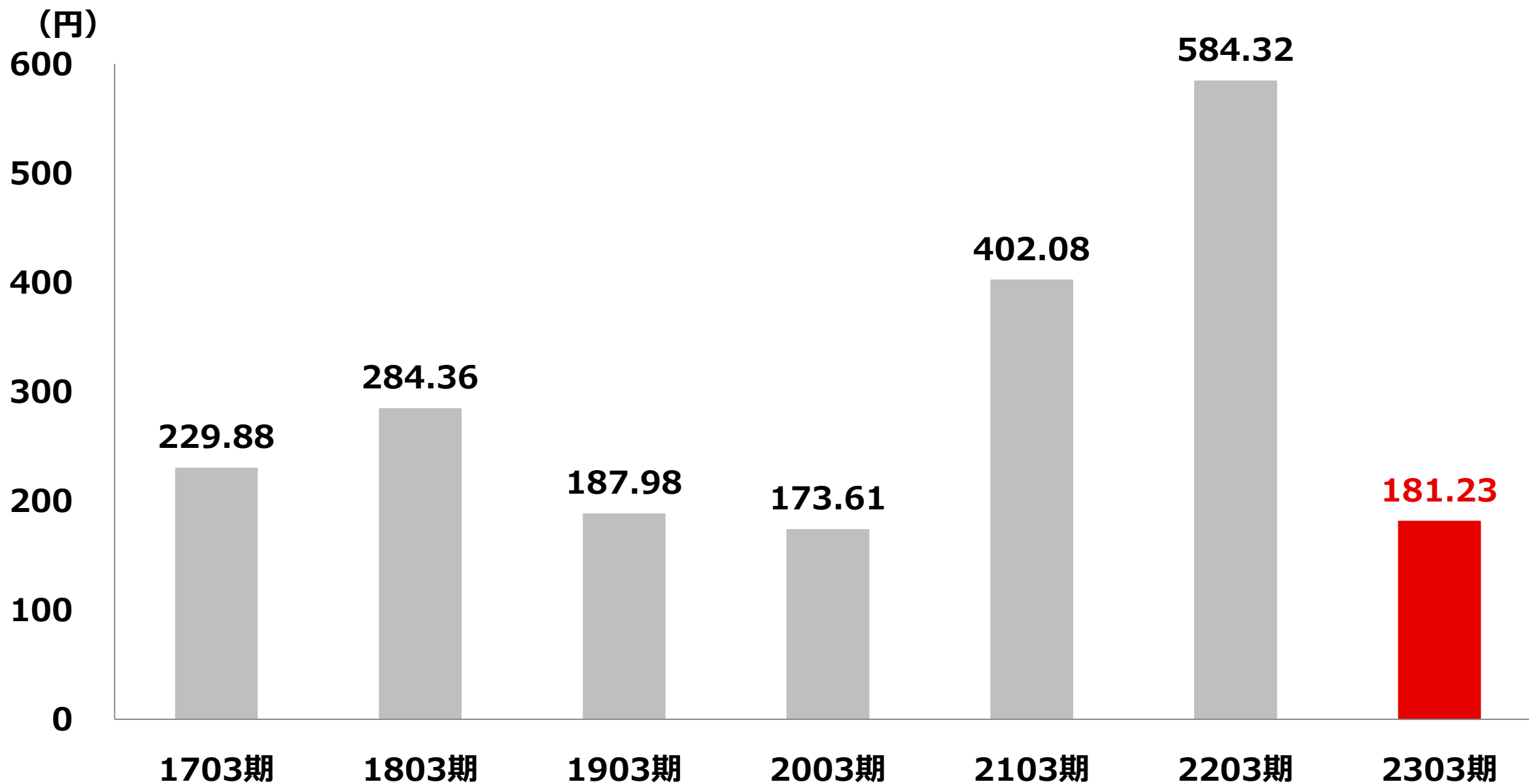
※億円未満は切り捨てて表示しております。

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。2022年3月期は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

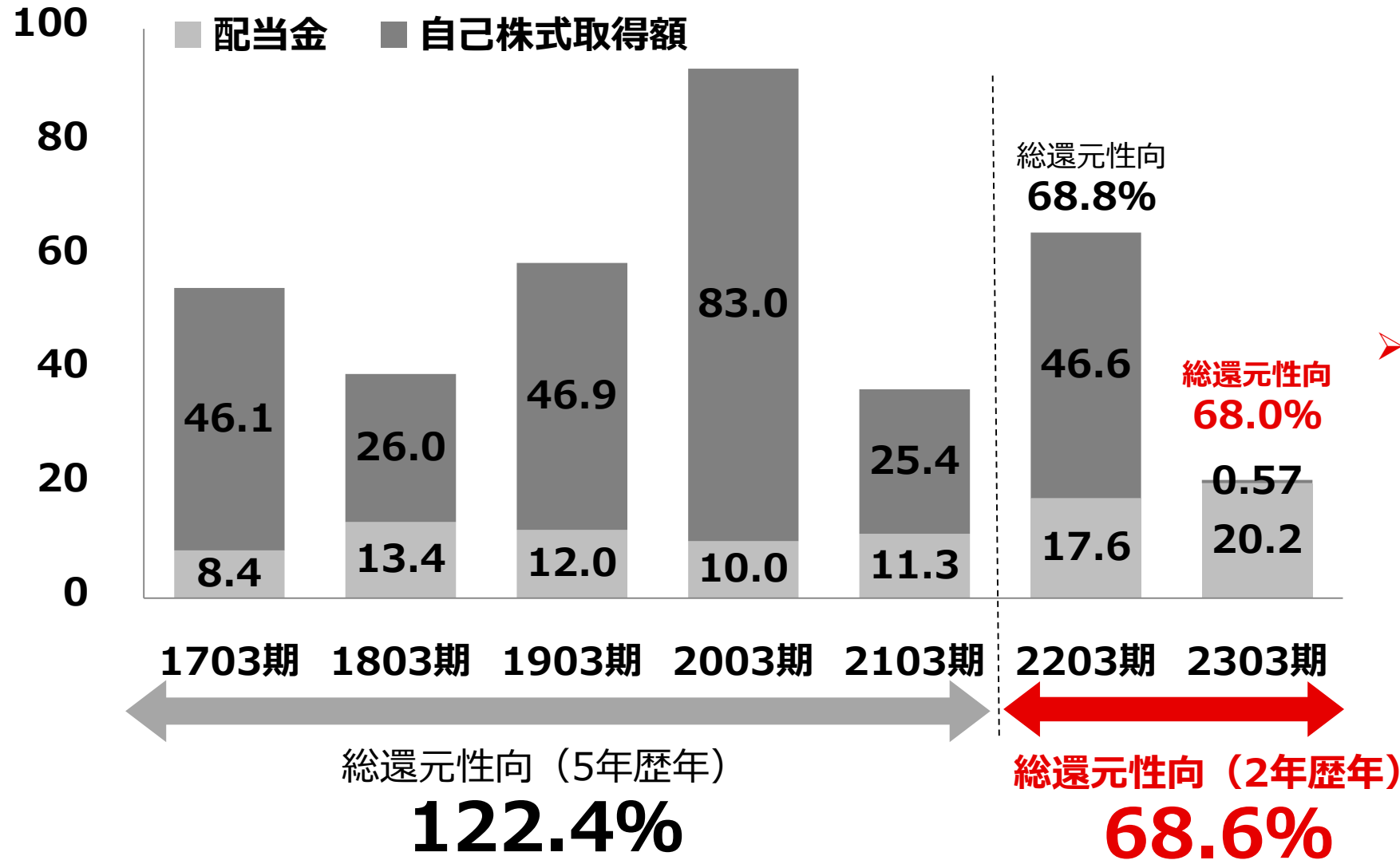


△81億円 (△64.4%)

※億円未満は切り捨てて表示しております。



(億円)



➤ 配当金

- 2023年3月期 期末配当金 **1株当たり60円**
- 2024年3月期 年間配当予想 **1株当たり120円予想**
(中間配当60円、期末配当60円)

➤ 自己株式取得中

- (2023年2月13日取締役会決議)**
- 対象株式 : 当社普通株式
 - 取得株式数 : 100万株
 - 取得価額 : 35億円
 - 取得期間 : 2023年2月14日
~2024年2月13日

※総還元性向 = (配当金支払総額 + 自己株式取得総額) ÷ 当期純利益
但し、自己株式処分金額は除いて算出しております。

単位：百万円		2203期末	2303期末	差異
流動資産		69,722	66,020	△ 3,701
	現金及び預金	21,834	20,506	△ 1,327
	受取手形、売掛金及び契約資産	15,930	16,693	763
	棚卸資産	21,812	22,421	608
	その他の流動資産	10,144	6,398	△ 3,745
有形・無形固定資産		13,045	14,631	1,585
投資その他の資産合計		13,030	12,757	△ 272
資産合計		95,798	93,410	△ 2,388
流動負債		29,618	27,941	△ 1,676
	支払手形及び買掛金等	14,274	15,330	1,056
	未払法人税等	1,507	303	△ 1,204
	その他の流動負債	13,836	12,307	△ 1,528
固定負債		3,056	3,005	△ 51
負債合計		32,674	30,946	△ 1,728
純資産合計		63,123	62,463	△ 659
負債純資産合計		95,798	93,410	△ 2,388

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

単位：百万円		2203期末 実績	2303期末 実績	増減
設備投資		2,434	4,011	1,577
	有形	1,336	2,148	812
	無形	1,098	1,862	764
減価償却費		2,280	2,254	△26
	有形	1,849	1,827	△23
	無形	430	427	△3
研究開発費		3,468	3,439	△29

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

2. 重点取組み報告

IT関連事業



※2022年 BCN調べ

**無線LAN部門****21年連続21回目 バッファロー**

BCN AWARD 2023 14部門受賞

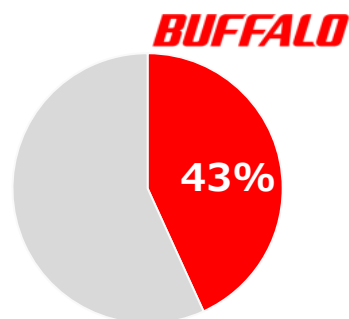
**ルータ部門****20年連続21回目 バッファロー****HDD外付部門****15年連続20回目 バッファロー****SSD外付部門****3年連続3回目 バッファロー****LANカード(アダプター)部門****24年連続24回目 バッファロー****カードリーダー部門****13年ぶり8回目 バッファロー****USBメモリ部門****3年連続10回目 バッファロー****NAS部門****10年連続10回目 バッファロー****記録型DVDドライブ部門****3年連続12回目 バッファロー****HUB部門****22年連続23回目 バッファロー****メモリ部門****12年連続12回目 CFD販売****ドライブケース部門****13年連続15回目 CFD販売****拡張インターフェース部門****14年連続14回目 CFD販売****PC電源部門****12年連続12回目 CFD販売**

**無線LAN部門21年連続21回目、HDD外付部門15年連続20回目
SSD外付部門3年連続3回目の受賞ほか、
昨年より多い14部門（バッファロー10部門・CFD販売4部門）を受賞！**

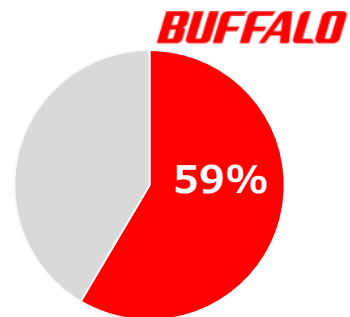
高い店頭シェアを誇り、多くの製品がシェアNo.1

メルコグループ

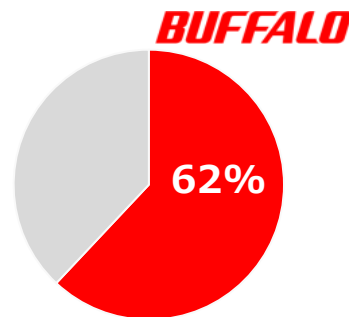
無線LAN



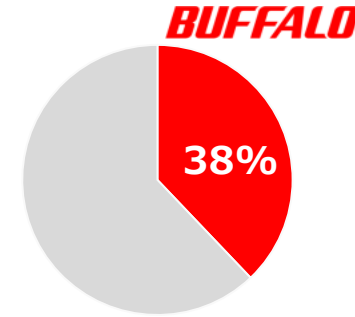
外付HDD



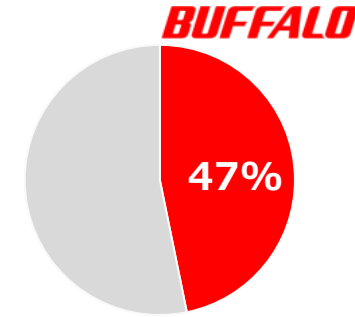
NAS



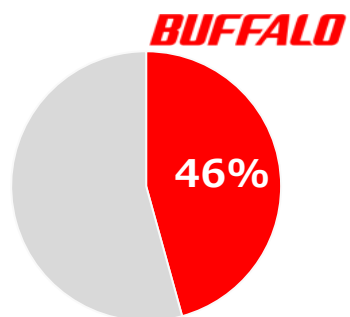
USBメモリ



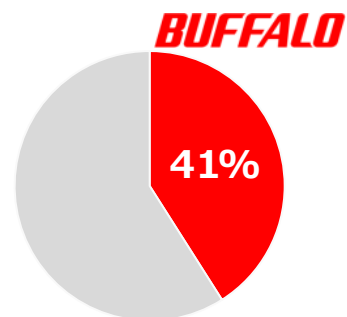
記録型DVDドライブ



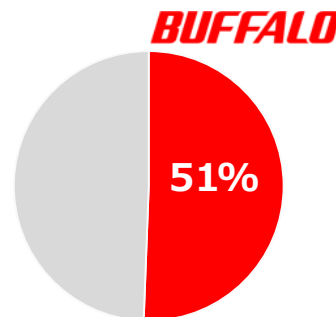
LANカード



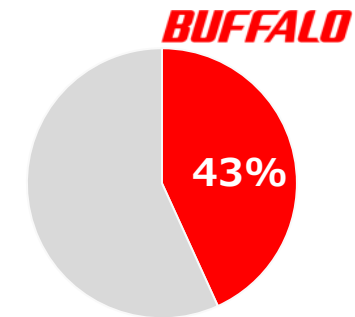
HUB



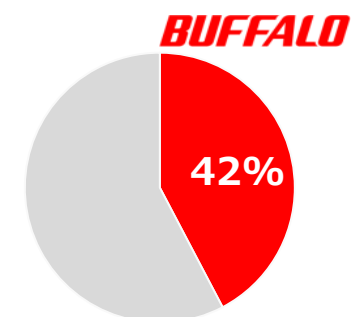
ルータ



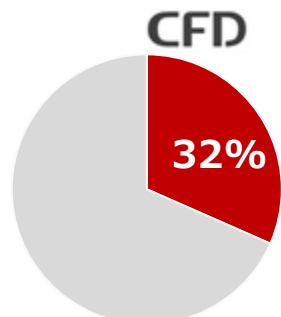
外付SSD



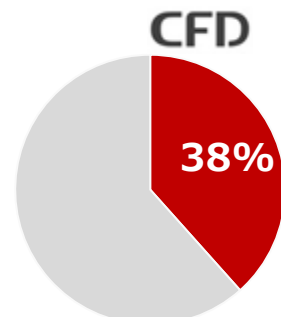
カードリーダー



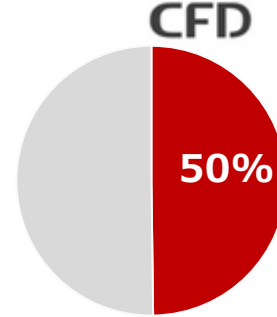
メモリ



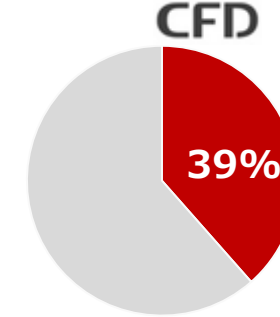
PC電源



拡張IF

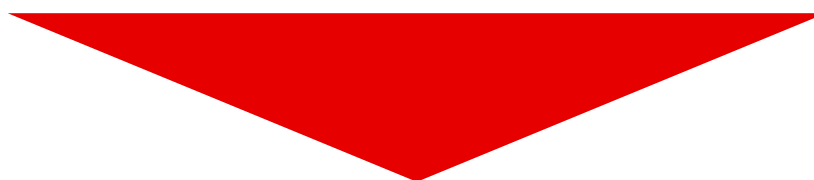
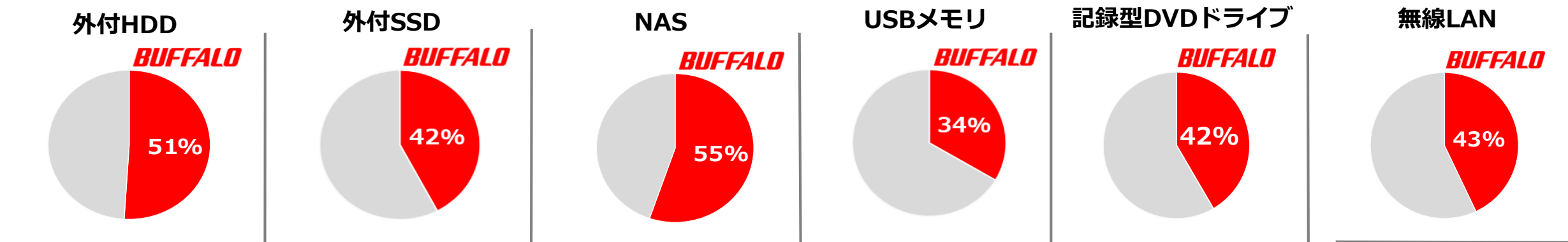


ドライブケース

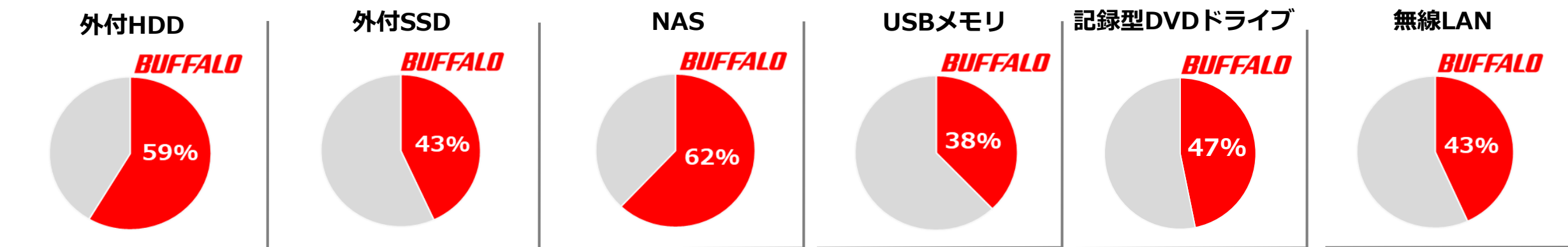


BCNランキング
(2022年1月～2022
年12月までのデータを
元に集計・加工)

2022年



2023年



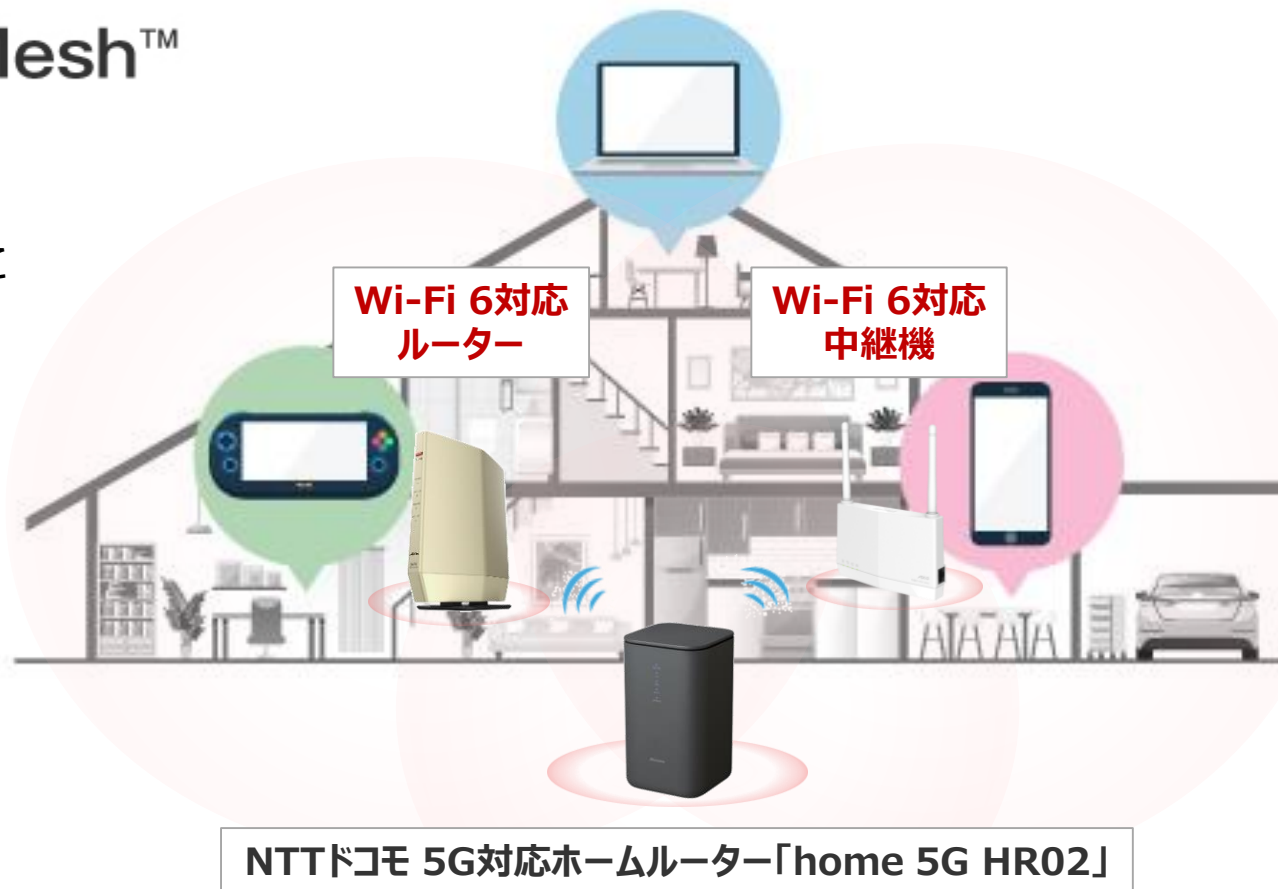
※ 「2022年」：2021年1月～2021年12月まで、「2023年」：2022年1月～2022年12月までのデータを元に集計・加工

NTTドコモ 5G対応ホームルーター「home 5G HR02」と Wi-Fi 6対応ルーター間で「Wi-Fi EasyMesh™」の相互接続を確認

Wi-Fi EasyMesh™

●スマートフォンをインターネットに接続したまま家じゅうどこでも途切れることのない快適なインターネット接続をお楽しみいただけるようになります。

●5Gの通信速度を活かして、ご自宅のインターネット通信をWi-Fi 6でより快適にご利用いただけるようになります。



Wi-Fi 6対応ルーター



WSR-5400AX6Bシリーズ

Wi-Fi 6対応中継機



WEX-1800AX4EAシリーズ

※「Wi-Fi EasyMesh™」とは、大きな家や複雑な間取りでも、すみずみまで快適なWi-Fiを最適化することができるWi-Fi Alliance®の標準規格です。

※相互接続の確認は、コントローラーをNTTドコモの「home 5G HR02」、エージェントをバッファローの「WSR-5400AX6Bシリーズ」または「WEX-1800AX4EAシリーズ」として検証したものです。

「商品」「サービス」「販売支援」展開状況

商品



2001~ AirStation Pro



2004~ TeraStation

2022.5~



有線・無線VPNルーター

2023.3~

エンタープライズ向け
高速化追求・大容量NAS

2023.3~



ポータブルブルーレイドライブ

2023.2~



対応アプリ無料提供

「電子帳簿マネージャー」

テレワーク・業務デジタル化
インフラ構築

電子帳簿保存法対応

2017.5~



データ復旧

2019.4~



キキNavi

人手・IT人材不足
(作業・管理の負担軽減)

2022.11~



キキNavi

クラウドゼロタッチ

BCP対策 (事業継続リスクへの対応)

2022.2~



キキNavi

クラウドバックアップ

サブスクリプション
メニュー提供

サービス

販売支援

2012.9~

VAR
Partner
by BUFFALO INC.

2020.9~



法人ポータル

電子帳簿保存法対応に向けた商品・サービスの提供開始

対応アプリ「電子帳簿マネージャー」を**無料**で2月より提供開始
 対応可能なポータブルブルーレイドライブを3月下旬より販売開始

電子帳簿マネージャー

取引先

電子取引データの保存要件の1つである【可視性の確保】を実現します！

電子取引データ
 (請求書・領収書・契約書)



メールや
 Web サイトから
 電子的に受領



ファイル名を変更
 「日付・金額・取引先」
 で検索可能にする



電子帳簿

2023年
 2月より無料
 提供開始

電子保存

NAS



外付けHDD



光学ドライブ

2023年
 3月下旬より
 販売開始

電子帳簿保存法対応
 ポータブルブルーレイ
 ドライブ



「再書き込み防止」ドライブを採用した専用設計モデル

BRXLPTWOU3 シリーズ

※「電子帳簿マネージャー」：バッファロー製のNAS、外付けハードディスク、光学ドライブでご利用いただけます。

新サービス「キキNavi クラウドゼロタッチ」 Wi-Fiアクセスポイントの運用・管理がより便利に！

3つの工数削減ポイント

登録工数

DOWN

キキNaviへの一括登録・設定

設定工数

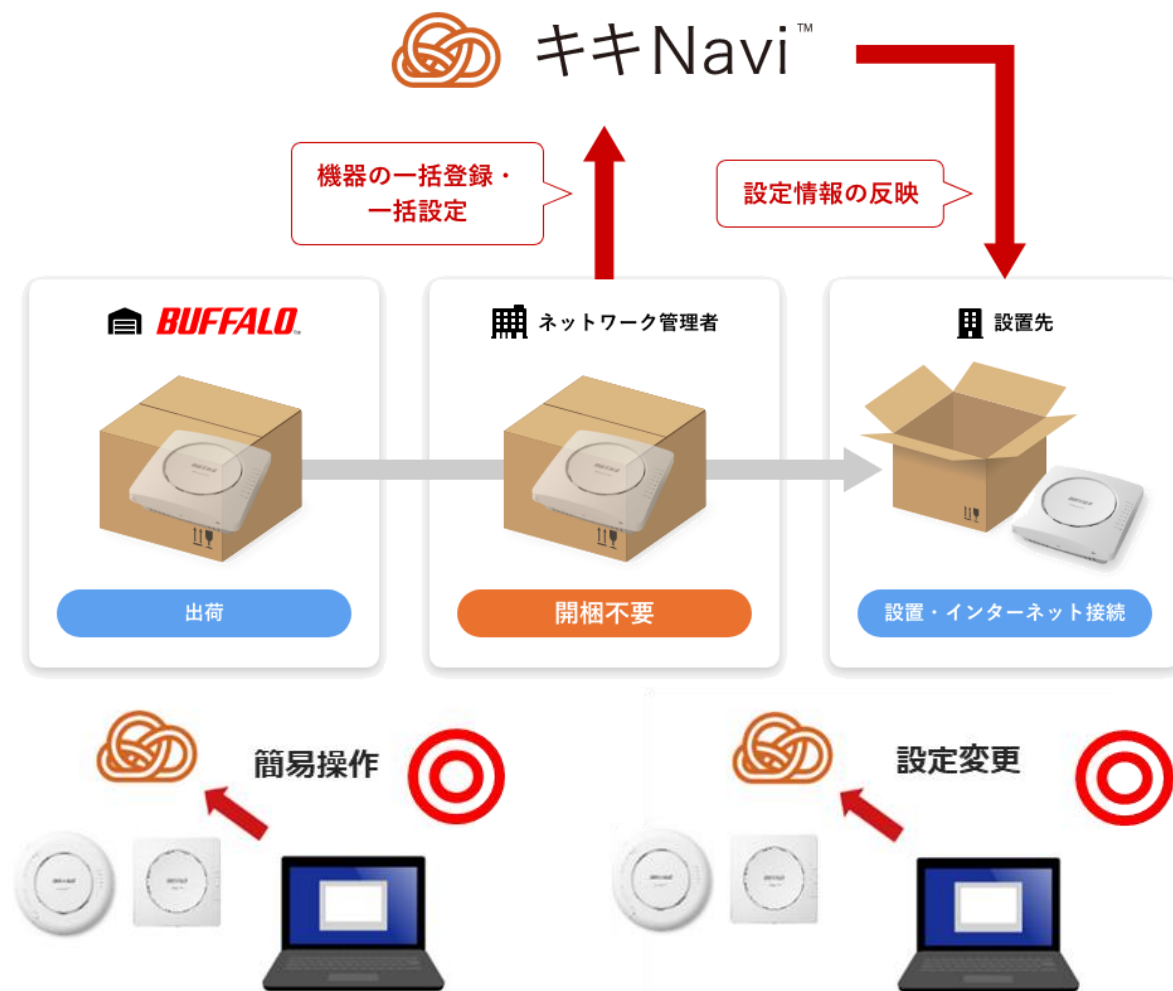
DOWN

事前に設定しておけば、現地で機器をインターネットにつなぐだけで、運用開始可能

訪問工数

DOWN

遠隔から簡易操作・設定変更可能



キキNavi クラウドバックアップ サブスクリプション版 iKAZUCHI(雷)※にて2023年1月より提供開始

「キキNavi クラウドバックアップ」**NEW**
サブスクリプション版登場！
さらに便利になりました！



iKAZUCHI (雷)
サブスクリプション管理ポータル
で購入いただけます！

「キキNavi クラウドバックアップ」は、買い切り型のパッケージ版に加えて、
月額・年額での自動更新となるサブスクリプション型プランをお選びいただけるようになりました。



キキNavi

for



iKAZUCHI(雷)

サブスク版はココが便利に！

- 自動更新で更新時の手続きが不要！
- 月額プランでスモールスタート可能！※1
- 容量増加も可能！まずは必要な最小容量でスタート！※2

※1 最低利用期間は初月含む4か月となります(初月無料) ※2 容量増加は更新時のみ可能となります

※iKAZUCHI (雷) は、ダイワボウ情報システム株式会社が提供するサブスクリプション管理ポータルです。

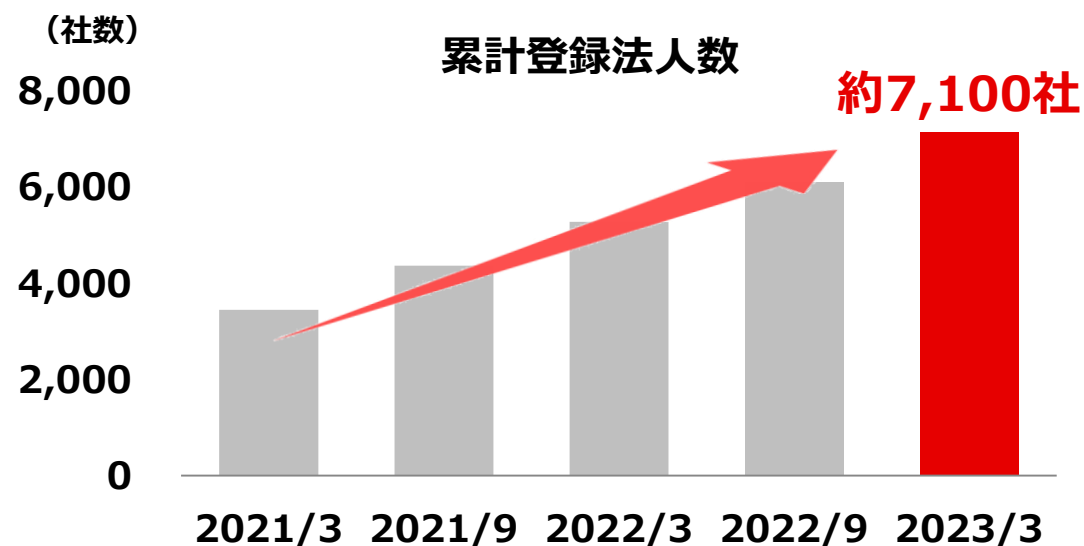
リモート管理サービス「キキNavi」・販売支援サービス「法人ポータル」

サービス員や情報システム担当の働き方改革、人手不足による保守・管理負担を軽減

リモート管理サービス「キキNavi」

NAS、無線アクセスポイント、スマートスイッチに対応
機器の保守・管理を簡単にする無料サービス

- 稼働状況の把握
- 遠隔簡易操作
- 稼働状況の共有
- 設定情報の保存

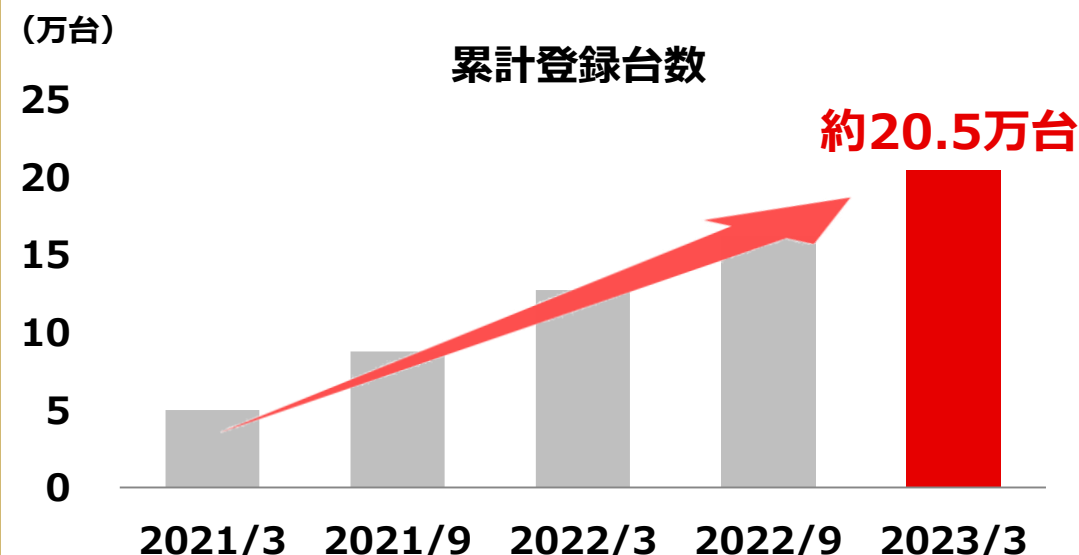


管理支援ツール「法人ポータル」

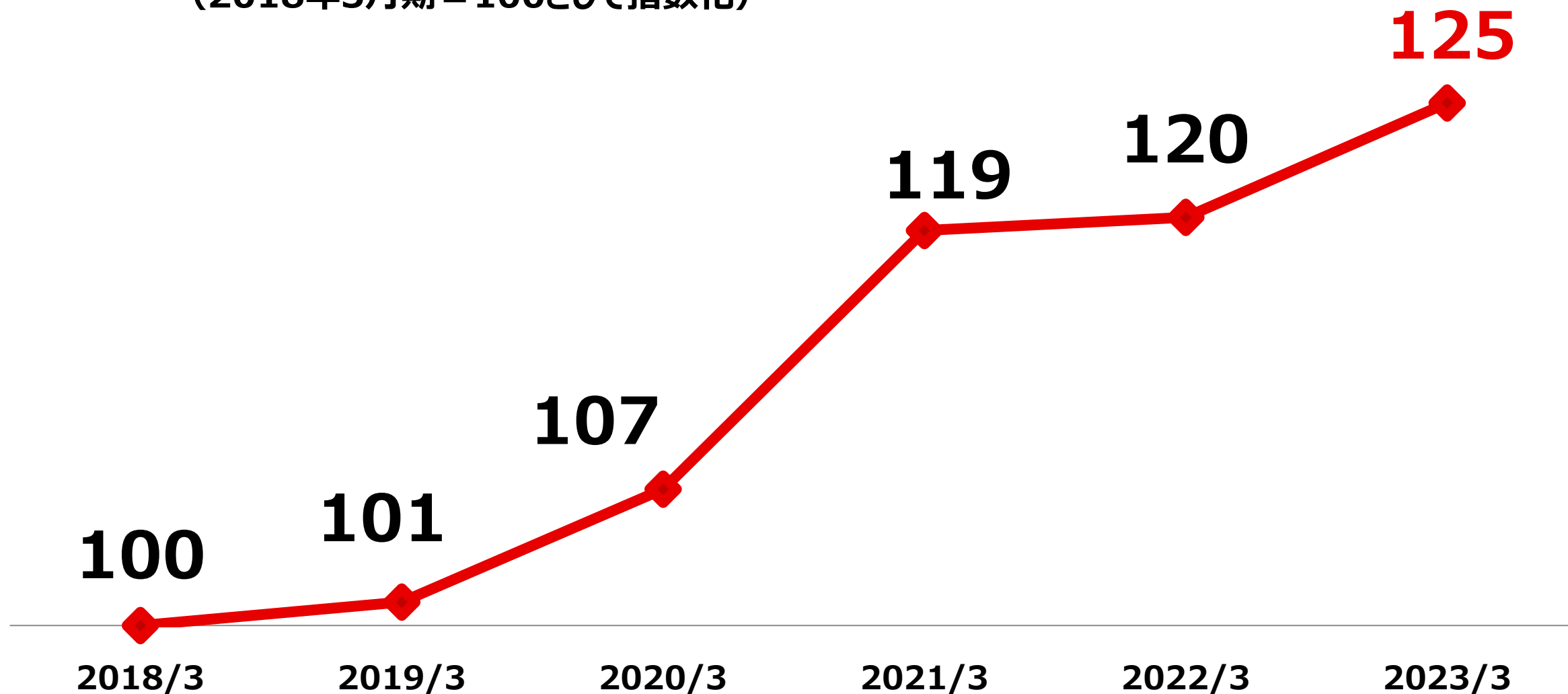
2020/9からサービス提供中

機器の納入後の運用サポートする無料サービス

- 保守契約の管理
- 納入管理
- キキNaviと連携



※バッファローにおける法人向け流通及び販売店経由の売上高指数
(2018年3月期 = 100として指数化)



累計受付件数 **6万台 突破**

(万台)

7

6

5

4

3

2

1

0



HDDが故障した
NASや外付けHDD等



故障したHDDを抽出



保存してあったデータを抽出し
別のHDD等に保存・復元

サービス
開始

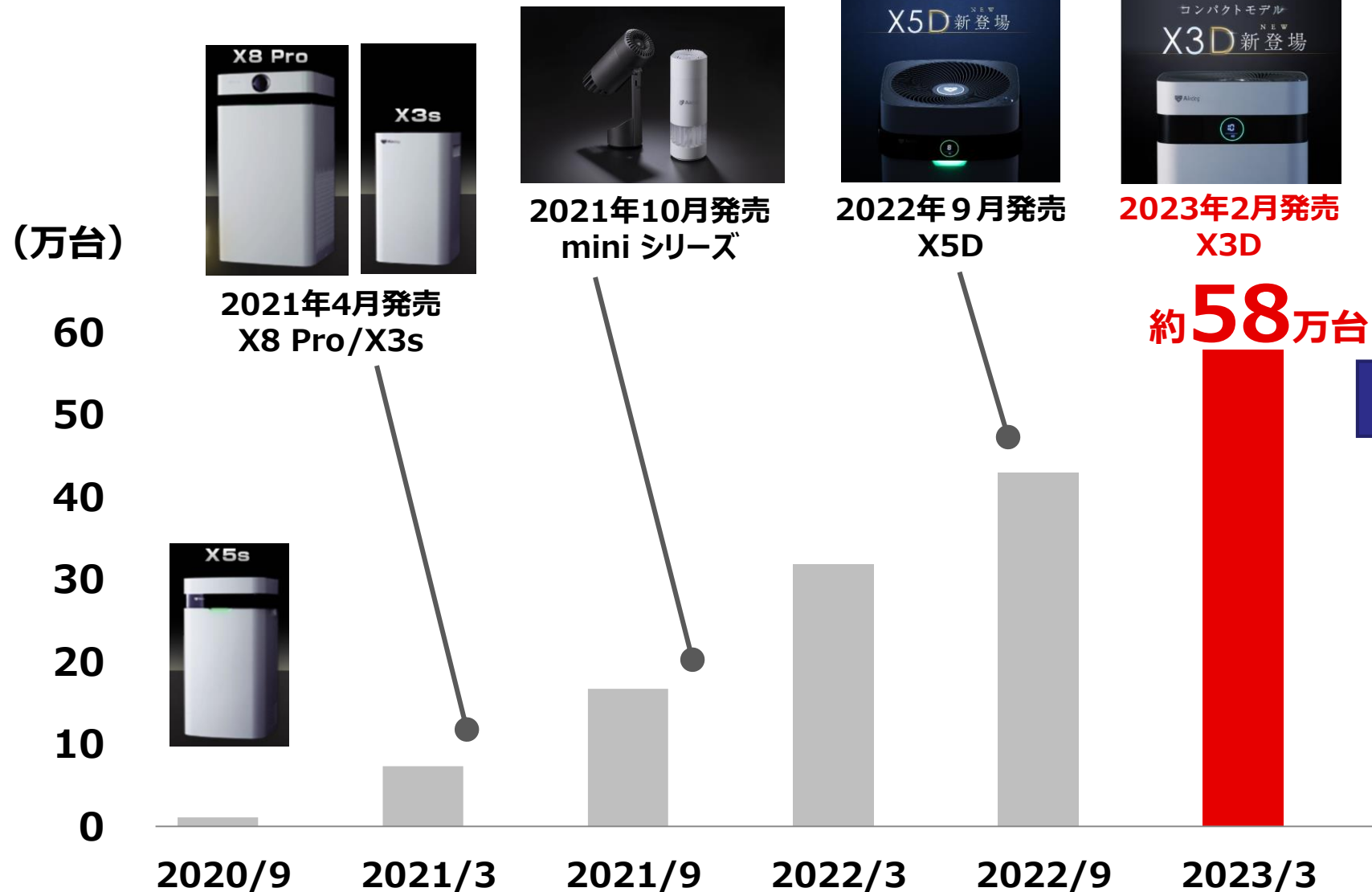
データ復旧

2017/5 2017/9 2018/3 2018/9 2019/3 2019/9 2020/3 2020/9 2021/3 2021/9 2022/3 2022/9 2023/3

6.4

日本唯一の正規販売代理店

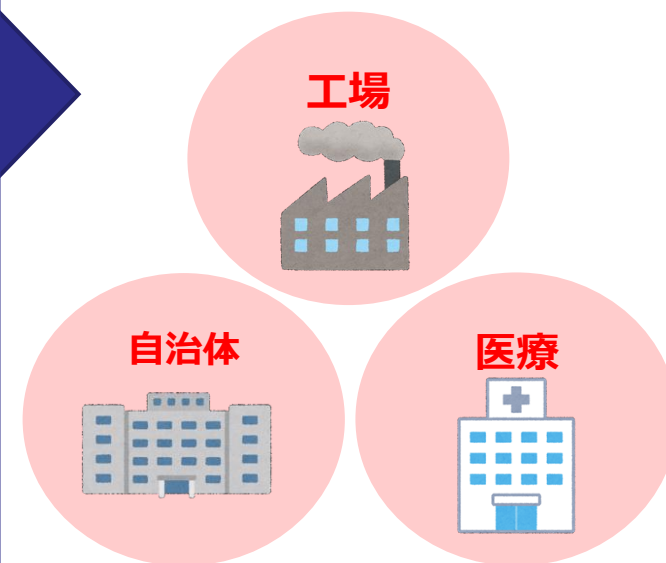
toCconnect



新たな市場の開拓



労働環境改善への取り組み



※Airdog X8 Pro・X5s・X5D・X3s・X3D及びAirdog miniシリーズの累計販売台数

トゥーコネクトがTBS系列で**単独スポンサー**番組（一社提供）を開始！

- 「Airdog」ブランドに続く、様々な新規商品ブランドの展開を視野に入れた「**トゥーコネクト**」の**企業としての戦略実行**
- 「トゥーコネクト」のコーポレートブランドのイメージと価値を高め、社会全体への発信力を強化



■ 毎週金曜：夜23:30～
■ 番組MC：三村マサカズ×青木崇高

- メルコグループは、2022年11月にお台場シンボルプロムナード公園セントラル広場（東京都江東区）で開催された「第11回 NIPPON IT チャリティ駅伝」のテーマである「人が幸せに暮らすために支え合うこと」に賛同し、プラチナスponsorとして協賛するとともに、グループ企業である株式会社バッファローから5チームが出場しました。
- この大会で得た収益は、「うつ病」「ひきこもり」の方々の就労支援をしているNPO団体FDA（Future Dream Achievement）に寄付されます。1人の参加費（3000円）によって、現在就労に悩んでいる方が1日就労トレーニングを受けることができます。

また、東日本大震災・熊本地震・鳥取中部地震で被災された地域復興支援として役立てられます。



- 愛知県日進市に、「ネットワークでDXを支援」として、教育現場のDX推進やデジタル田園都市国家構想実現に向けたネットワーク整備を支援するため、法人向け無線LANアクセスポイントをはじめとするネットワーク機器を寄贈いたしました。
- 寄附品は日進市の小学校および保育園のネットワーク整備に活用されます。



2022年11月2日

日進市役所での寄附受領式にて

(左) 近藤裕貴 市長 (右) バッファロー取締役副社長 渡邊泰治

- また、愛知県日進市立日進東中学校の全生徒655名に向けて、情報リテラシー教育の一環として設けられた「SNSの安心安全な利用講座」を行いました。本講座では、実例を交えながらSNSとの上手な付き合い方などについて生徒の皆様にお話しいたしました。
- これからも商品・サービスの提供だけに留まらず、情報リテラシー教育等においても社会貢献してまいります。



2023年1月27日

愛知県日進市立日進東中学校にて
登壇者 メルコホールディングス参与 炭田寛祈

「教育DX支援プロジェクト」

学生の学び支援として、全国の大学にPD充電器の寄贈を開始



2023年3月の国立大学法人
東海国立大学機構名古屋大学贈呈式にて
(右) 杉山 直総長 (左) 弊社代表取締役社長 牧 寛之

- 今回も昨年プロジェクトと同様に「安心して快適な学生生活を過ごしてもらおう」ことをミッションに掲げ、DXが進む教育現場の中で、未来をつくる学生たちが安心して学業に専念できるように支援してまいります。



食品事業

● 環境変化

新型コロナ

行動制限の緩和
5類感染症へ移行

人流回復も

感染再拡大のリスク残る

コスト高騰

ウクライナ危機の長期化
円安の進行

原材料・エネルギーの

価格高騰継続

物価上昇

食品の値上げラッシュ
光熱費の上昇

生活者の節約志向

強まる

人手不足

生産年齢人口の減少

人材獲得が困難

賃上げや待遇改善が

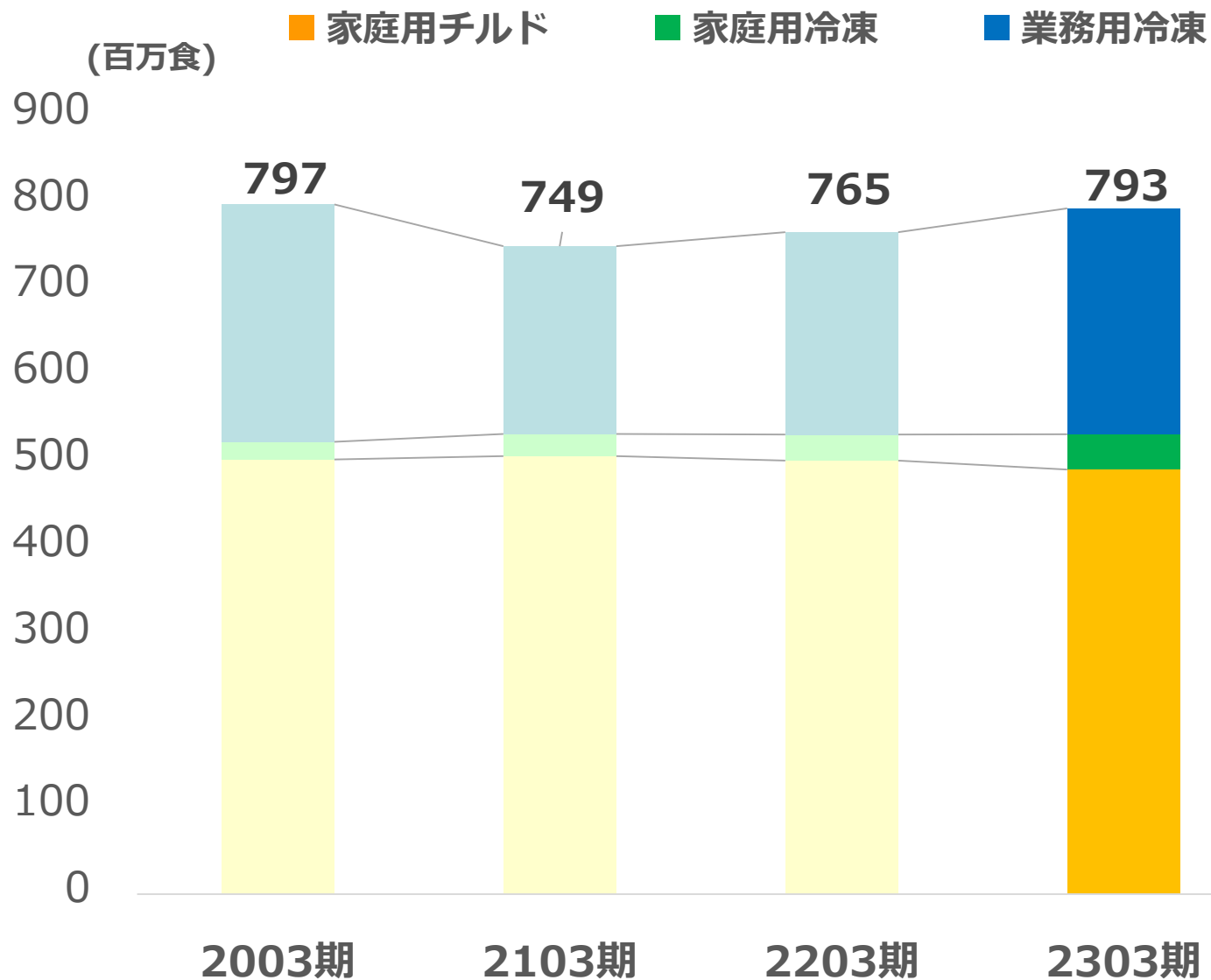
進む

● 食品事業の業績

売上高：家庭用冷凍・業務用冷凍の拡大、商品価格改定の効果などにより**増収**

営業利益：原材料やエネルギー価格の高騰を業務用冷凍麺の売上増加、経費の削減や

商品原価の低減、商品価格改定などでカバーし、**前期比ほぼ横ばい**



全体

家庭用冷凍と業務用冷凍の拡大により前期比拡大、ほぼコロナ前（2003期）の水準へ

家庭用チルド

巣ごもり需要の落ち着きや商品価格改定による買い控えなどもあり前期比縮小

家庭用冷凍

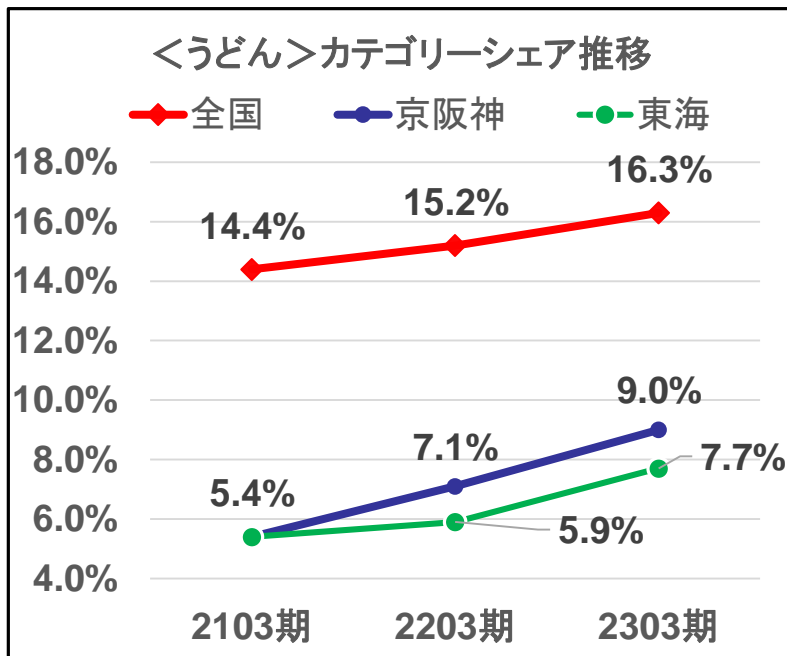
新規導入活動の継続により前期比拡大
コロナ前との比較では倍増

業務用冷凍

市場の回復や新規開拓により前期比拡大
コロナ前の水準には届かず

西日本専用「太鼓判」を拡販 ⇒ <うどん> のシェア拡大

<うどん> のシェア拡大



秋冬期に新商品 「京風細うどん」を投入



テレビCM放映 消費者キャンペーン実施



- 西日本専用『太鼓判』テレビCM
(2022年10～11月、2023年2月)



- 「太鼓判」国産小麦の京風細うどん3食
を2022年9月に発売

- 「『太鼓判』を食べて5,000円GET!」
キャンペーン (2022年10～12月、
2023年2～4月)

- 京阪神・東海地区でシェアを拡大し
全国シェアもアップ

⇒ **当社はうどんの全国シェアがトップ**

⇒ **西日本専用「太鼓判」は4品体制に**

※ Child Noodle Market (生麺ゆで麺 + Spaghetti Category)におけるメーカー別食数シェア (2020年4月～2023年3月、株式会社インテージ「SCI(全国消費者パネル調査)」調べ)

主力ブランドの原料国産化を推進 ⇒ 食料自給率向上に貢献、品質価値を向上

「流水麺」



- そば粉を100%国産化するとともになめらかで歯切れのよい食感を実現
- ⇒ 「流水麺」ブランドの主原料は全て国産に

生冷し中華類



- 「もみ打ち」・「麺がうまい!!」の生冷し中華類の小麦粉を100%国産化
- もっちりなめらかな食感に改良

「鉄板麺」



- 「鉄板麺」の小麦粉を100%国産化
- 更にもちもちとした食感に改良

健康基軸商品の開発・拡販を継続 ⇒ 健康寿命延伸へ寄与

「健美麺」の拡販



「健美麺」の品質強化



JSH減塩推進 10年アワード受賞



- 家庭用チルド「糖質30%カット本そば」、家庭用冷凍「食塩ゼロ稲庭風うどん3食」、業務用冷凍「学給用食塩ゼロ」シリーズなどが拡大

- 業務用冷凍「食塩ゼロうどん250」と「糖質30%カットうどん200」の改良を実施し、品質価値を向上

- 家庭用チルド「健美麺」食塩ゼロ本うどんと「流水麺」うどんが「JSH減塩推進10年アワード」を受賞（2022年6月）

プラスチック使用量削減、フードロス削減、再生可能エネルギーの活用など 自然環境に配慮した事業活動を推進

トレー廃止商品の拡大



プラスチックトレーを使用していないエコな商品です♪

- 2023年3月より新たに、「もみ打ち」ざる麺など7品のトレーを廃止
⇒ プラスチック使用量の削減を推進

賞味期間の延長



21日間



30日間

60日間



90日間

- 2023年3月より新たに、「本生」冷し中華やつゆ等の賞味期間を延長
⇒ フードロスの削減を推進

太陽光発電の導入



- 2022年12月よりシマダヤ関東(株)群馬工場・前橋工場の2工場で太陽光発電が稼働開始
⇒ 東京工場・埼玉工場の導入も計画

シマダヤのパーパス：麺食を通して「おいしい笑顔をお届けする」

1. スピンオフ上場準備の 確実な実行

- 内部統制の強化
- コンプライアンス意識の向上
- 成長軌道に乗せる次期中期経営計画の策定

2. 持続的な利益成長 への取り組み

- 売上高だけでなく利益の拡大
- 事業収益性の強化・改善
- SDGsへの取り組み



迅速な事業戦略を実行し、事業成長の実現を目指してまいります

3. 2024年3月期 業績予想

【事業環境の見通し】

● PC周辺機器市場の需要縮小の継続や円安の定着、エネルギー価格および穀物価格をはじめとする世界的な物価の高騰、ウクライナ問題の長期化など、当社グループのビジネス環境は厳しさを増すものと想定

- IT関連事業：引続き、商品の安定供給と更なるシェアアップを推進し増収を目標とする。一方、利益面では、前期の収益を大きく牽引したAirdogの減速を想定し、減益を見込む。
- 食品事業：原材料・資材やエネルギーの高騰に対して、引続き、経費削減・原価低減や価格改定の定着に努め、前期比で増収増益を見込む。

単位：億円	2303期末	2403期末	前期比	
	(実績)	(予想)	増減額	増減率
売上高	1,425	1,500	75	5.2%
営業利益	45	40	△5	△11.5%
経常利益	47	43	△4	△8.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	30	0	△1.9%
1株当たり当期純利益	181.23円	177.98円		

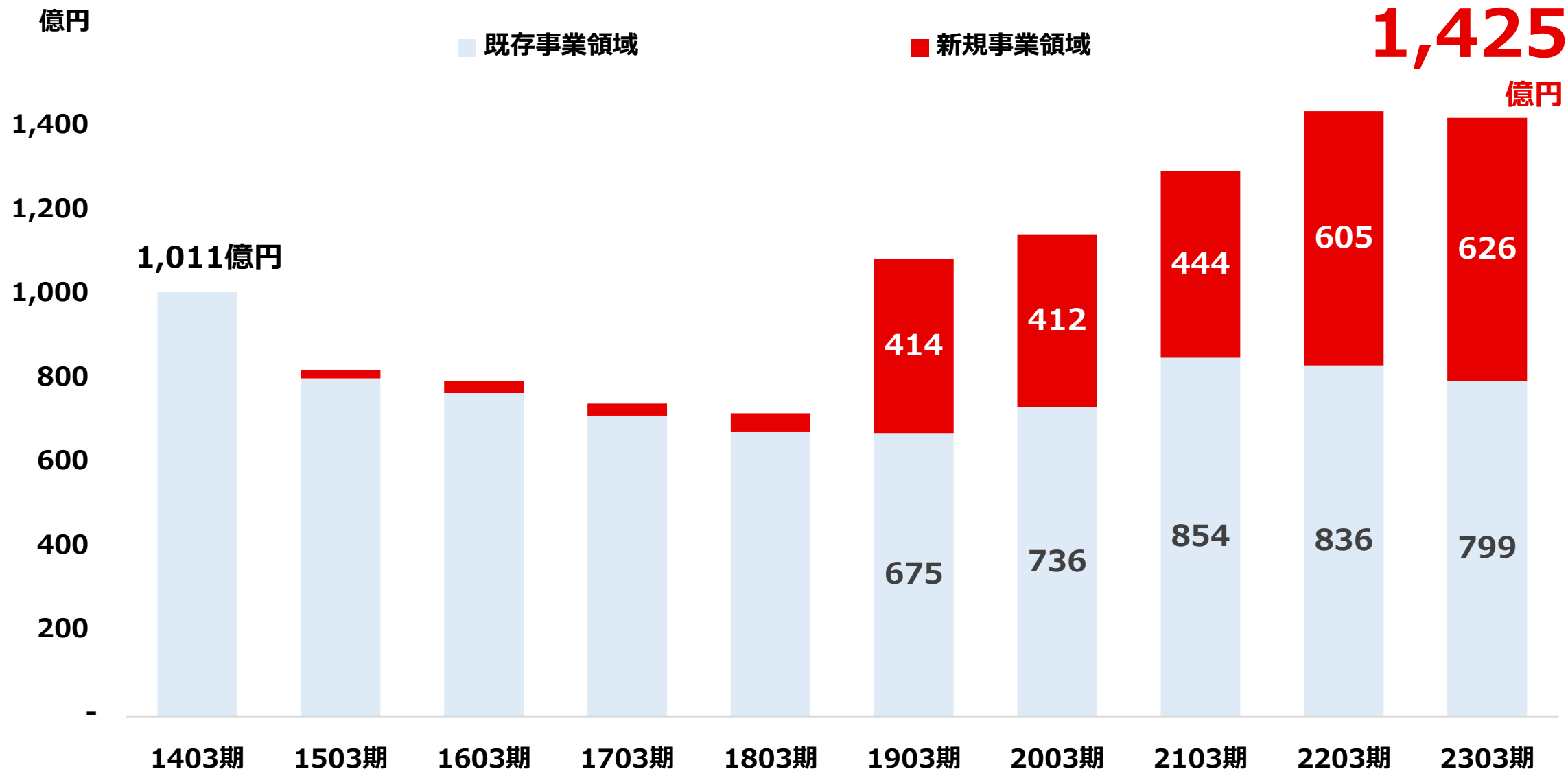
※億円未満は切り捨てて表示しております。



- ※ 「Canvio」は東芝デバイス&ストレージ株式会社の商標です。
- ※ AMD、Ryzen及びこれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。
- ※ 「nasne®」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。
- ※ KIOXIA及びKIOXIAロゴは、キオクシア株式会社の商標です。

4. 参考資料

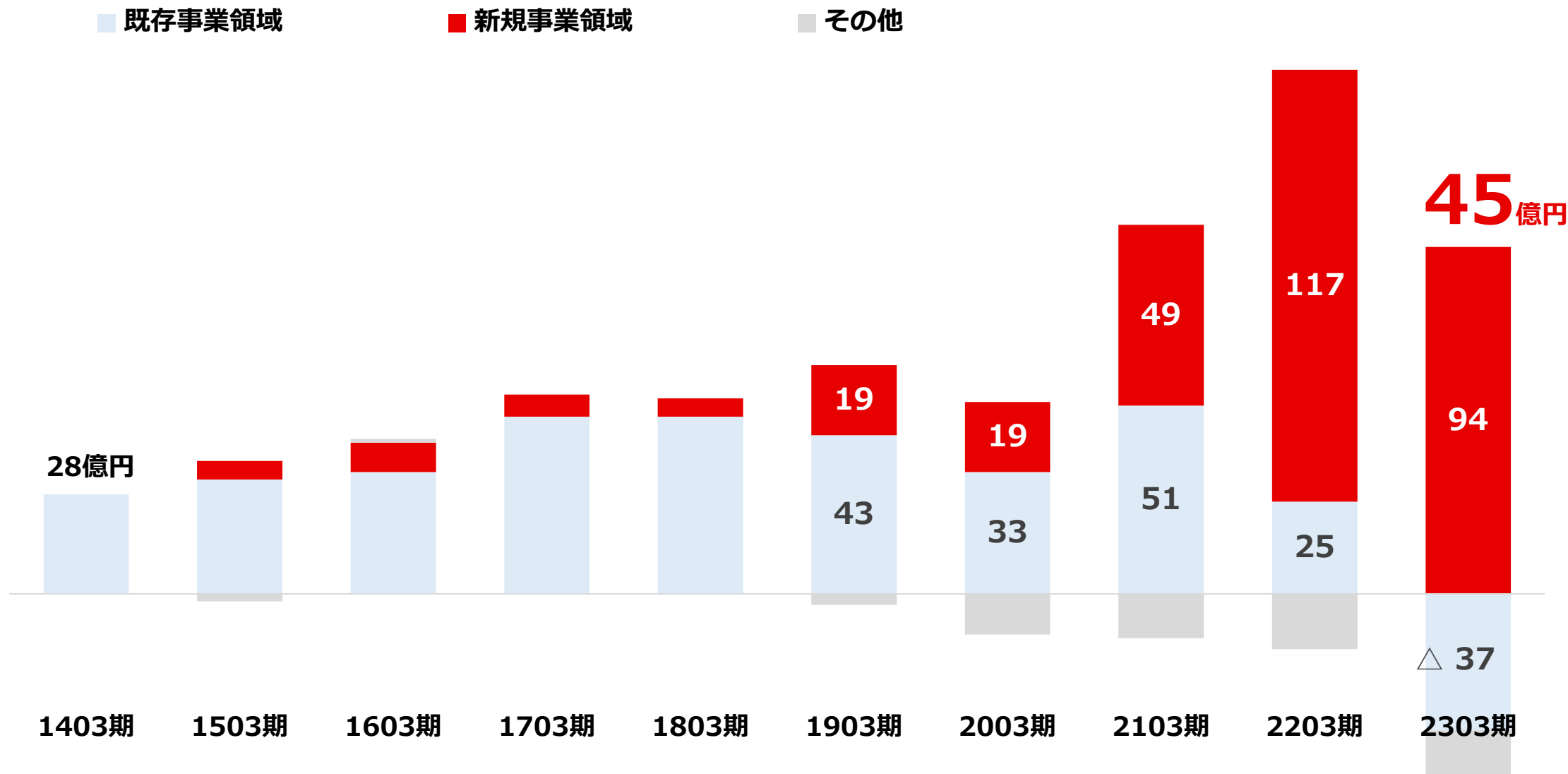
既存事業領域・新規事業領域の連結売上高



※既存事業領域：パソコン周辺機器事業、 新規事業領域：2014年以降に開始した新規事業領域等

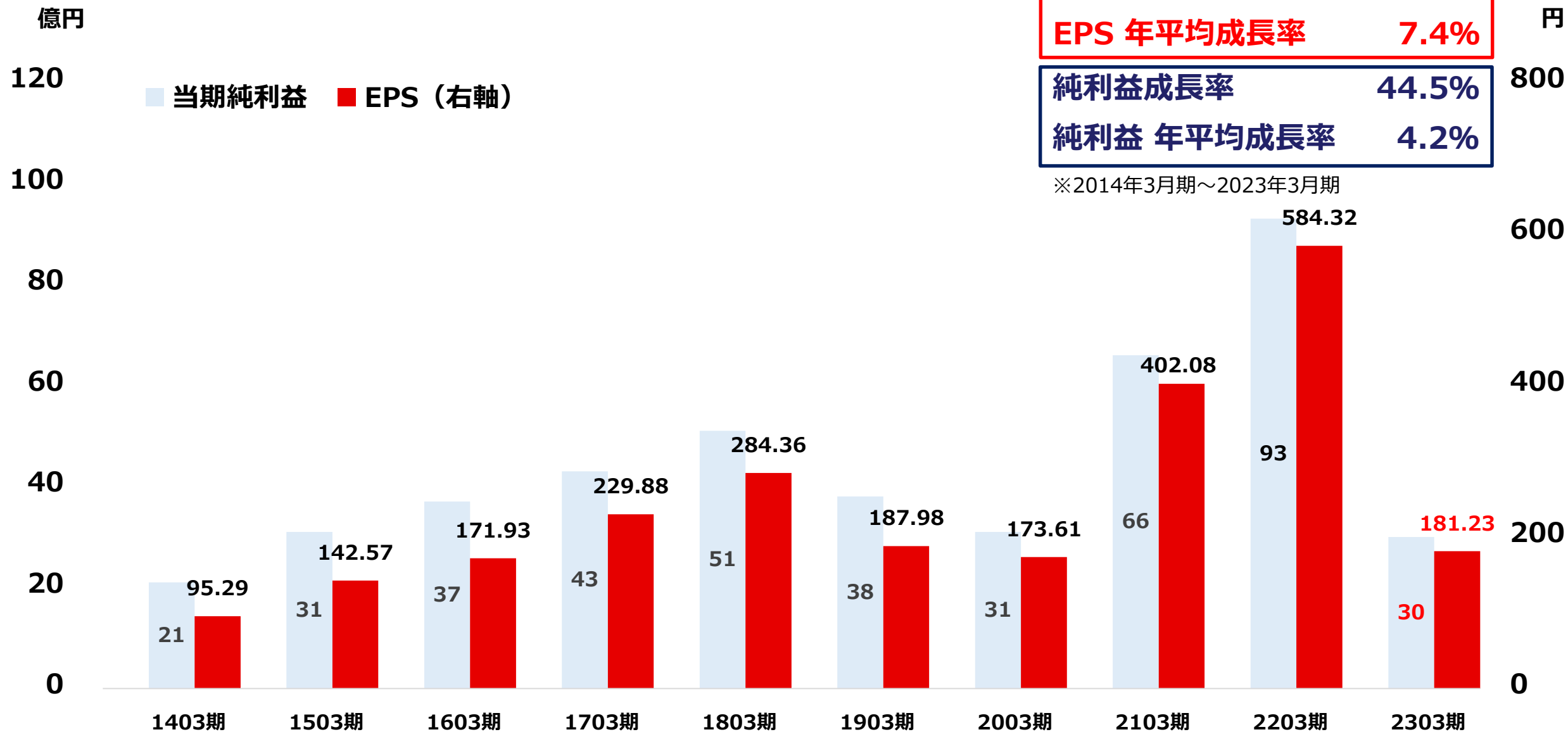
※億円未満は切り捨てて表示しております。

既存事業領域・新規事業領域の連結営業利益



※既存事業領域：パソコン周辺機器事業、 新規事業領域：2014年以降に開始した新規事業領域等、 その他：当社グループ全体に関する本社費用およびセグメント間取引消去
 ※億円未満は切り捨てて表示しております。

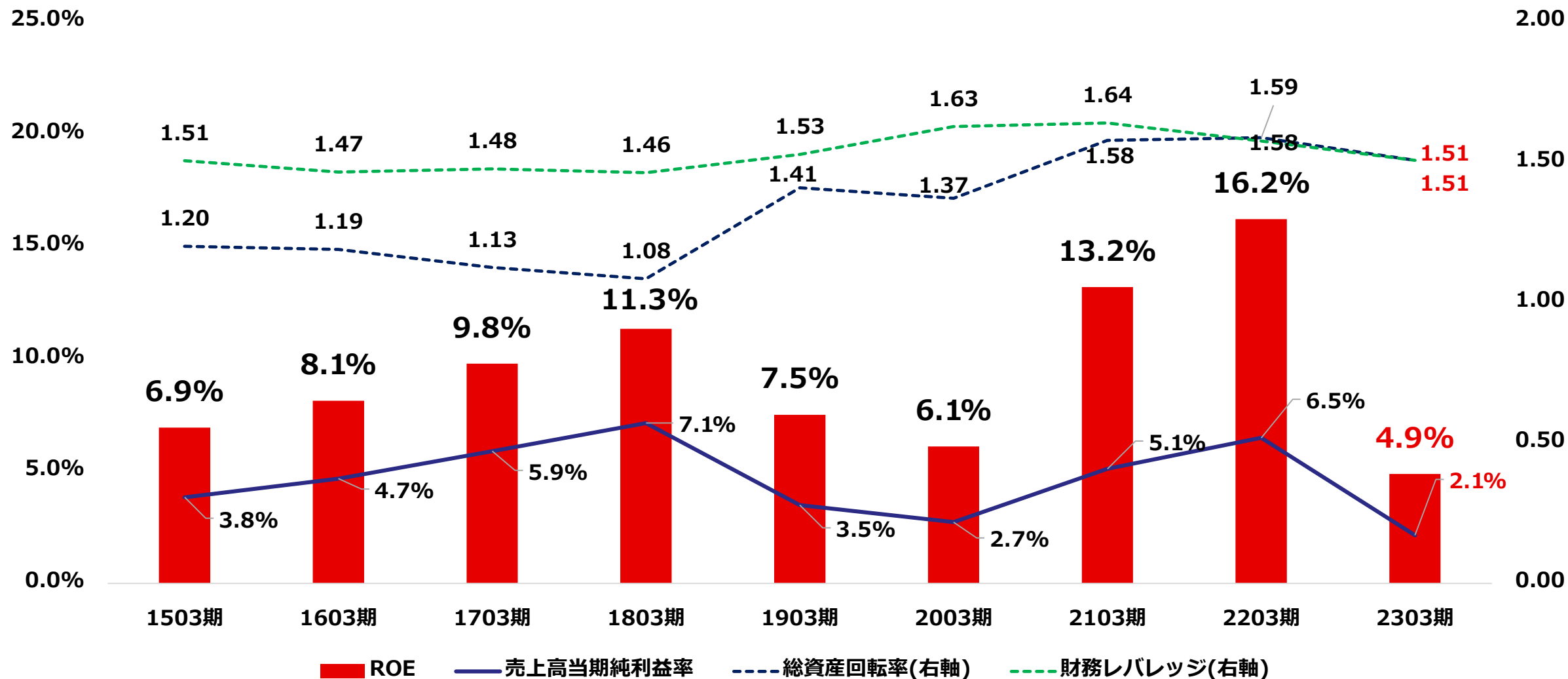
当期純利益 / EPS 推移



EPS 成長率	90.2%
EPS 年平均成長率	7.4%
純利益成長率	44.5%
純利益 年平均成長率	4.2%

※2014年3月期～2023年3月期

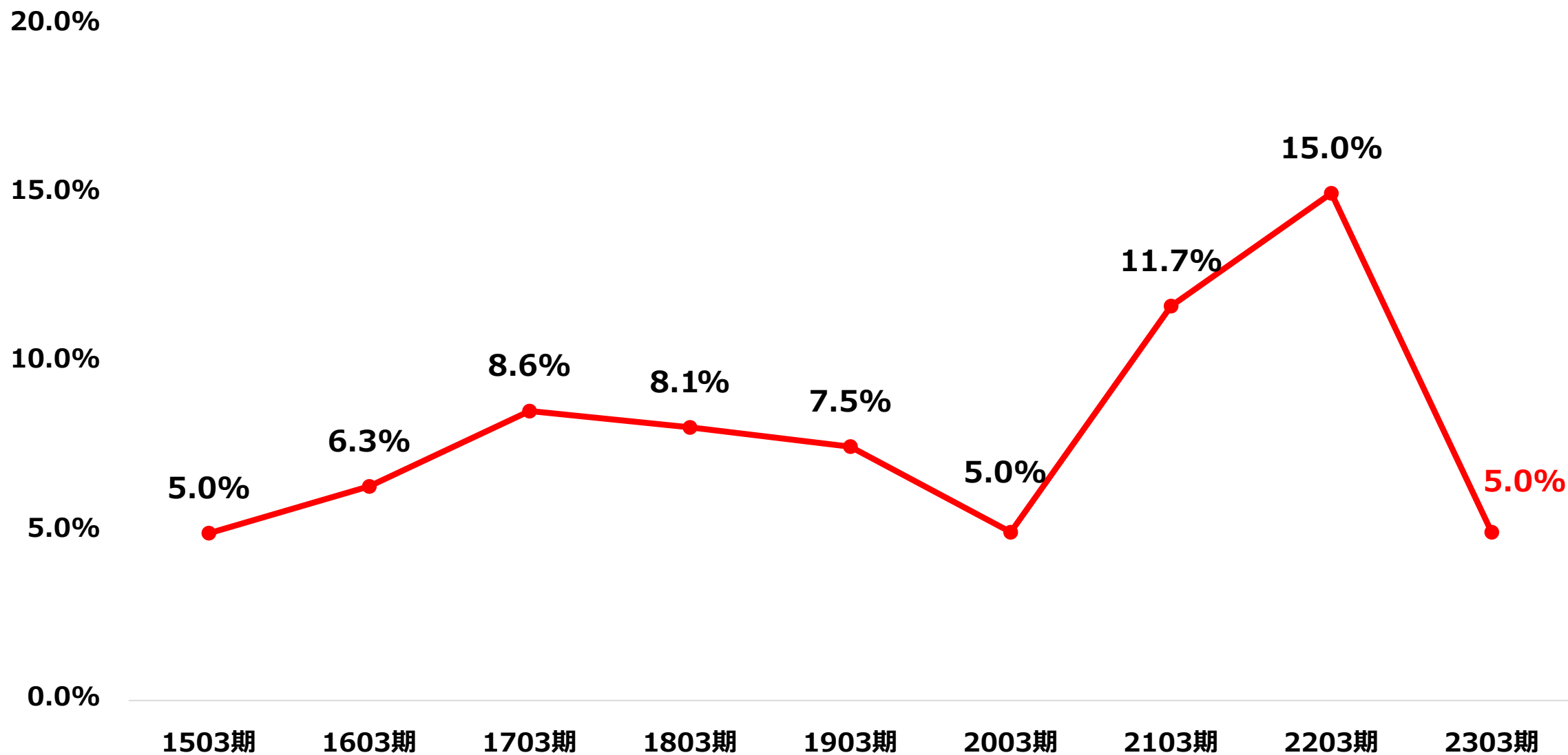
※億円未満は切り捨てて表示しております。



※ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 (期首・期末平均)

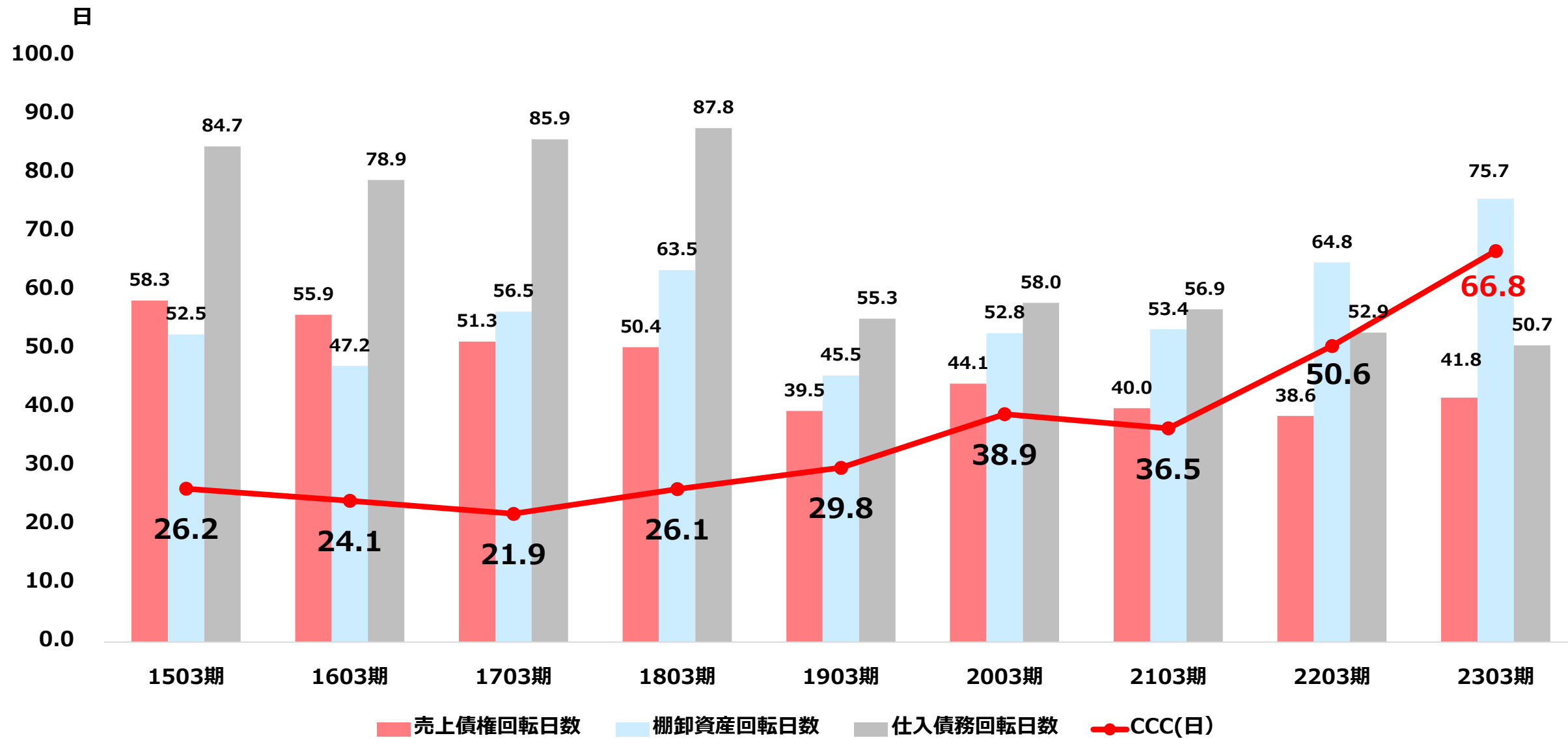
※売上高当期純利益率 = 当期純利益 ÷ 売上高 総資産回転率 (回) = 売上高 ÷ 総資産 (期首・期末平均) 財務レバレッジ (倍) = 総資産 (期首・期末平均) ÷ 自己資本 (期首・期末平均)

※2019年3月期より「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日改正)を適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、2018年3月期以前のROEは、遡及修正後の数値に基づき計算しております。



※ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本 (期首・期末平均) 投下資本 = 株主資本 + 有利子負債 税引後営業利益は、法定実効税率 (東京都) を使用して算出しております。

キャッシュコンバージョンサイクル 推移

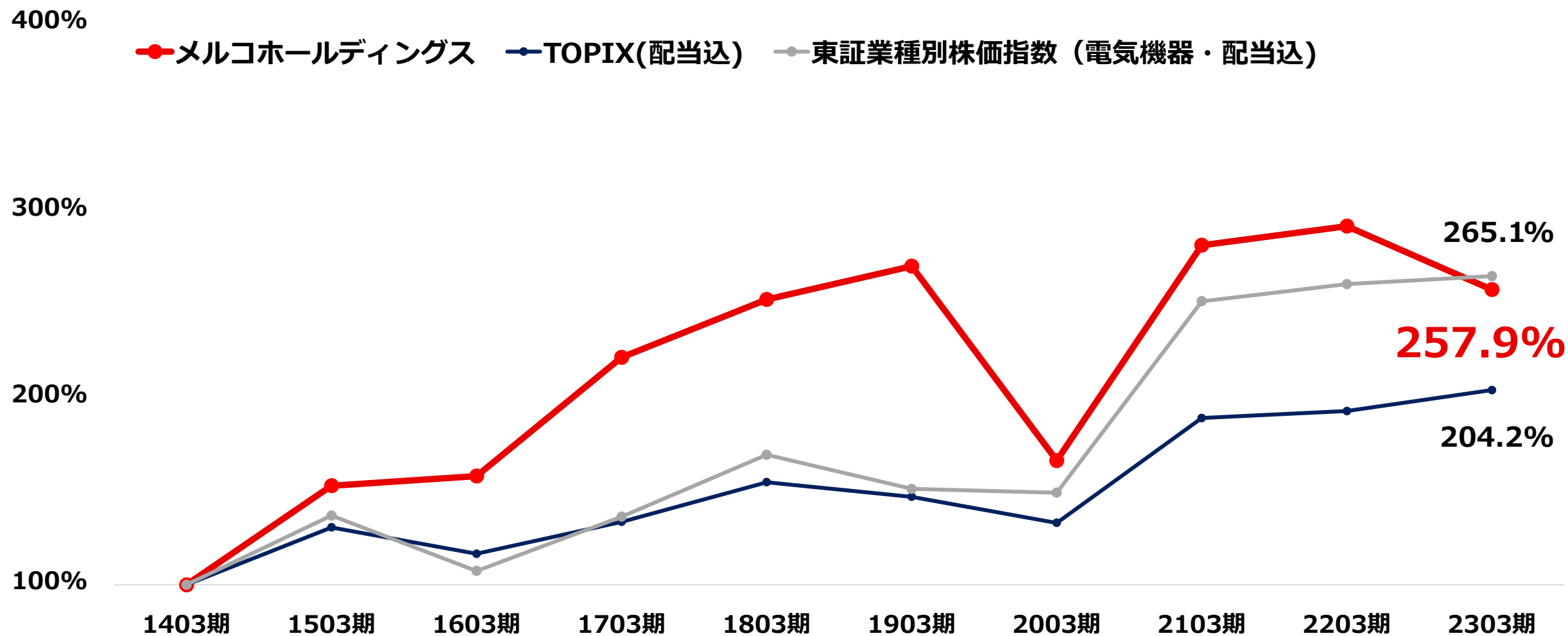


※キャッシュコンバージョンサイクル(CCC) = 売上債権回転期間 + 棚卸資産回転期間 - 仕入債務回転期間

売上債権回転期間 (日) = 売上債権 ÷ 売上高 × 365

棚卸資産回転期間 (日) = 棚卸資産 ÷ 売上原価 × 365

仕入債務回転期間 (日) = 仕入債務 ÷ 売上原価 × 365



※2014年3月31日の終値を100とした配当込株価(指数)
 ※2023年3月期年間配当金120円で計算

- 本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績見通しならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
- そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。

＜お問合せ先＞

株式会社メルコホールディングス IR部

TEL : 050-5830-8865 / FAX : 050-5830-8867

E-mail : ir@melcoinc.co.jp